

**GIO:** 医師としての基本的な態度・習慣を身につけるとともに、放射線診断に特化された以下のような研修を通して、画像診断学の基本原理とその臨床応用について修得する。

1. **J1 コース(3ヶ月研修):** 最初の2ヶ月は単純写真・CTの読影を基本として、希望によりバリウム検査、超音波、MRI、RIなどが1検査加わる。3ヶ月目はそれらをさらに brush up するとともに、希望検査を追加してその割合を増す。
2. **J2 コース(2ヶ月研修):** 2ヶ月は単純写真・CTの読影を基本として、希望によりバリウム検査、超音波、MRI、RIなどが1検査加わる。

**SBOs:**

〈単純写真〉

- ・単純 X 線写真の基本原理を説明できる。
- ・胸部単純・腹部単純・骨単純写真の基本的な撮像法・体位・撮影方向を説明できる。
- ・胸部単純・腹部単純・骨単純写真の正常像の概略を把握し、代表的な正常変異を知っている。
- ・代表的な疾患における胸部単純・腹部単純・骨単純写真の異常像を指摘できる。
- ・単純写真の読影における systematic reading の方法を身につけている。
- ・単純写真の読影レポートの作成方法を理解している。

〈CT:Computed Tomography〉

- ・CTの基本原理を説明できる(helical CT, MDCTを含む)。
- ・CTの適応、長所、限界などを知っている。
- ・CTの基本的な撮像法・プロトコールを説明できる。
- ・CTで用いる経口造影剤・経静脈性造影剤の特徴を知り、その副作用について説明できる。また、造影を実施できる。
- ・頭部・胸部・腹部の正常CT解剖を理解し、代表的な正常変異を知っている。
- ・代表的な疾患における頭部・胸部・腹部CTの異常像を指摘できる。
- ・CTの読影における systematic reading の方法を身につけている。
- ・CTの読影レポートの作成方法を理解している。

〈バリウム検査:消化管造影〉、〈超音波検査〉、〈MRI:Magnetic Resonance Imaging〉、〈核医学〉については放射線診断・IVRグループのレジデントマニュアルを参照のこと。

**方略:**

- ・1週間のうち、何コマかCTやその他の検査枠に入り、その検査計画を立て、実際の検査を実施する。実施した検査を中心に画像診断報告書を作成し、上級医からその添削を受ける。
- ・その他の枠では単純写真の報告書を作成し、上級医からの添削を受ける。
- ・目安として、1日あたりCT3件、単純写真5件の報告書作成が望ましい。
- ・毎日行われる教育カンファレンスや他科との合同カンファレンス・講演会に出席し、場合により発表を行う。

**評価:**

- ・修了前にグランドカンファレンスにて、Radiographicsの論文から1編を選び、それについて抄読会の発表を行う。発表のためPowerpoint形式のスライドを作成する。
- ・修了前に消化器・呼吸器合同カンファレンスでそれぞれ、最低3症例の症例提示を行う。
- ・以上のカンファレンスでの発表、日常の勤務態度、画像診断報告書の内容を踏まえ、EPOCによる評価を行う。